



光岡 実

土砂災害への取り組みは

市長

土砂災害危険箇所を示し、周知をしている

光岡 土砂災害について、小城市の防災の現状と、土砂災害防止法に基づく取り組みは。

い。
 現段階では、土砂災害危険箇所として、その範囲を示し、周知が図られている。

光岡 県下の土砂災害警戒区域の指定の進捗率は約30%と聞くが我が小城市への予定は。

建設部長 小城市を管轄する佐賀土木事務所によると、現在、佐賀市と多

市長 現在、県では土砂災害防止法に基づき、警戒区域や特別警戒区域の指定に向けて取り組まれているが、小城市内の指定まではまだ至っていない。

なお、急傾斜地崩壊危険区域の指定を受けたところは、のり面の保護やブロック積等の対策が取られている。

から基礎調査に入ること。

その他の質問

- 特別養護老人ホームへの入所待機者の現状
- AED 設置と活用
- アライグマ対策とマダニの人への影響と対策
- 水循環基本法に関して



▲山間地帯における土砂災害状況



北島 文孝

消防団員の処遇改善策は

市長

消防団員の活動実態に合わせて見直している

北島 消防団員の確保対策には団員の待遇改善と地域や家族の理解が必要と思うが。

市長 合併時は訓練のみ費用弁償として手当を支給していたが、25年度より行方不明者の捜索また

産業部長 多くの要望に対応するため区長会等に負担割合の説明に廻っている。

北島 3月議会でもなぞ否決されたと思うのか。また部内で検討したのか。

産業部長 住民に対する説明不足であると痛感した。

北島 環境事業には他にも4つの事業が有るが農業農村整備事

環境整備事業

北島 3月議会において農業用の道路や用排水路について受益者負担が5%から10%に変更する



▲夏季訓練（小型ポンプ操法訓練）



永瀨 和正

災害から市民を守る方策は

市長 防災対策室で監視をし対策を講じている

永瀨 7月3日の大雨で、砥川小学校付近の国道34号線と砥川保育所裏が冠水した。その対策はどうするのか。

市長 牛津町柳鶴の満神排水機場の排水容量と各排水ポンプ場間の稼働連携が必要。砥川保育所裏の冠水対策は担当課と協議して対応していく。



▲7月3日の大雨で冠水した国道34号砥川小付近

市長 排水ポンプを設置した時期と気象状況が変わっている。排水ポンプの増

設について国等に申し入れることが必要である。

永瀨 小城町門前地区の未整備の排水樋門4か所、樋管5か所と水路の狭隘部の改修をするべきではないか。

産業部長 県で取り組まないか中部農林事務所に相談している。

永瀨 牛津町前満江地区内の水路整備はいつ完了するのか。

産業部長 地元と協議し、予定している前満江排水機場の完成までに水路整備を完了する。



合瀬 健一

不登校児対策は万全か

教育長 子ども一人一人に対して深く把握している

合瀬 不登校になった原因をすべて把握されているのか。

教育長 情緒的な混乱によるもの、無気力によるもの、いじめを除く友人関係、家庭的な状況、学業不振、非行が挙げられている。

合瀬 いじめで不登校になった子どもはいるのか。

学校教育課長 不登校の原因にいじめはない。

合瀬 いじめはないというので安心したが、不登校児の確認はされているのか。

教育長 家庭訪問を行い、てほしいと要望があり、残すこととした。

旧牛津庁舎北別館を残す必要はあるのか

合瀬 旧議会議事棟が牛津公民館に改修予定であるが、現公民館は残す必要があるのか。

教育長 23団体体が活動されており、それに対応しているために残し



▲牛津庁舎北別館は必要か

りた方は、会議録が各町図書館にありますのでご覧下さい。議録の設置及びホームページ掲載は11月末の予定です。



下村 仁司

小城市の土砂災害対策は

市長

時間雨量100mm超えで、土砂災害が相当起きると予想する



深川 高志

道路管理と維持補修の状況は

市長

傷みがひどい路線から順に補修を計画している

下村 もしも、100mmのゲリラ豪雨が降った場合、小城市の急傾斜地崩壊危険箇所対策や土石流危険渓流対策は。

下村 県はどのように指定するのか。

業で随時対応している。さらに、県の指定を受け取り組む。

クリークと水路整備について

下村 牛津川堤防沿線の水路整備は。

産業部長 武雄河川事務所からは、市の事業として整備するよう回答を受けている。

下村 県営クリーク防災事業の反省点と改善策は。

産業部長 水路の畦畔(けいばん)やのり面の崩壊、残土処分など取り組み、改善策は県と協議中。



▲ゲリラ豪雨による土砂災害現場

下村 三里地区の或る急傾斜地では日ごろから石が落ちてきたり、大雨の時はすごい水量が家の庭を流れるとのことだが対策工事はされていない。どうするのか。

市長 警戒すべき212か所の中で、39か所は砂防三法の指定を受け完了、16か所は県の補助事

建設部長 基本的に急傾斜地の指定は災害が発生した所を県が指定し、

工事をする事になって

建設部長 広島の土石流

災害後、県との協議では来年少しできない。

深川 市内の国県道、市

道について、市道の多くは舗装して40年以上経過し劣化が進んでいる状況であり、部分的補修を行ってきたが、地域住民の往来や一般車両の通行に危険を及ぼしており、

国の社会資本整備総合交付金事業を利用して舗装補修が実施されている。市内の道路管理、補修状況はどうなっているのか。

市長 国県道について

は、道路の沈下や剪定不足での視界不良箇所、住民から直接連絡を受けた箇所について、国県に連絡し対応している。

市道については、道路の舗装補修、路肩の補修、

路肩の除草、側溝清掃等を地元の方と連携し管理

を行っている。月に1回定期的なパトロールを行い、現状の把握に努めている。

深川 大雨時の冠水による県道牛津川上線の通行止めに対する市の対応は。

産業部長 三日

月の一号排水路のゲート調整は下流域との調整をしながらゲート調整をやっている。今回の場合、下流域の



▲大雨時通行止めとなった県道牛津川上線(牛津町乙柳地区)



岸川 英樹

各町の開発地区の

取り組み状況は

市長

7月に第1回土地利用検討部会を実施

副市長 26年3月に決定された「まちづくり推進エリア4地区」の開発計画

は、どう進められていくのか。

旧牛津庁舎跡地の利用について

副市長 跡地は芝生を植え

て緑地、一部は公民館や体育館の駐車場に決められた理由は。

跡地はJRの牛津駅、国道が2本通っている非常に交通の便

もよく、今後活用の方策の検討を。

市長 財政圧迫の要因と

なるため解体し、更地にす。一部緑地としての整備は、地区住民の代表及び区

長会の要望に沿った形にもなっている。

その他の質問

- 教育方針について
- 小中一貫校への取り組み
- フット物洗口対応
- 食物アレルギー対応



▲緑地・駐車場に整備される旧牛津庁舎跡地



上瀧 政登

砥川地区の

抜本的な水害対策は

市長

国・県に対して強く要望していく



▲排水能力アップを求められる満神排水機場

だが、道路等が冠水し農作物も被害が出た。市内の排水機は30

副市長 JR長崎本線柳鶴第3踏切の安全対策の進捗状況は。

年以上経過したもののがほとんどで、牛津川の河川改修は少しずつ進んではいくが、根本的なことは早く内水面の雨水を排水することだと思われる。満神の排水機能を高めるために国、県に対して強く要望活動を行っていく。

副市長 現在147本の電車が通過しているが、フリーゲージトレインが走れば190本になる。早急に安全性の確保を行っていただきたい。

副市長 砥川地区の抜本的な水害対策は。

市長 本年7月と8月の大雨時、水害が発生し満

神ポンプ場もフル稼働し

JR長崎本線柳鶴第3踏切について

総務部長 JR九州、県とも技術的な課題等について協議はした。



香月チエミ

財政の健全化に

臨む留意点は

市長

財政健全化判断比率を見定め
注目し対応する

香月 平成25年度小城市の財政状況について、主な財政指標の動向は。

総務部長 経常収支比率、実質公債費比率、財政力指数、それぞれ悪化傾向になっている。ただ、他団体と比べればほぼ平均的な位置と思う。

香月 ①実質公債費比率

① 実質公債費比率について元利償還金等は今後減るか。見直しは。
② 一時借入金利子について、何の目的でどこから借りたものか。
③ 将来負担比率について「一般会計等が将来負担すべき実質的な負債額が、充当可能財源を下回るため良好な状態」とし

て赤字額はなし、というのが今後下水道の事業実施等に伴って、公営企業債等の増加も見込まれるなかで、将来負担額は減っていないのではないか。

財政課長 ①合併特例債

の償還額は年々増加し、平成32年度にピークになる見込み。
② 支払い時の不足分を基金から借り入れたもの。
③ 現状では、充当可能財源の中に鉅害復旧基金が入っている。これについては、国・県の指導で入れてもいという形の中

で算出しているの、将来負担額よりも充当可能財源が大きくなり、マイナス表示となる。

その他の質問

○生活困窮者自立支援対策について



▲財政は健全か (小城市役所)



富永 正樹

小城市のめざす

生ごみの堆肥化は

市長

段ボールコンポストでの処理
方法を広げたい

富永 現在の小城市の可燃ごみの総量は年間約1万5000トンで、焼却のためのキロ当たりの燃料費30・45円をかければ約3億2,000万円が炉の中で灰になる構図だ。その中で「生ごみ」は大

体3割程度の量を占めているということ、約1億円強の大事な市民の血税が何も生み出すことなく灰になっている。NP法人伊万里はちがめプランが取り組んでいるところの、生ごみの堆肥化へ思い切ってシフトして取り組む考えはないか。同法人は現在250軒分年間500トンの生ごみから、なんと6割に当たる、300トンの堆肥をつくり販売している。

その他の質問

○生ごみ教育の推進について



▲生ごみの堆肥化に取り組む「伊万里はちがめプラン」

市長 はちがめプランの大規模な処理の仕方とか、今まで取り組んできた「くう



樋渡 邦美

これからの小城市の

教育目標は

教育長

子どもたちの生活とか学力向上等々を目指していく

樋渡 平成26年度小城市の教育白書の中で、各学校施設等の整備が進み学力の向上、各種教育の充実、施設内の向上を示されているが、子どもたちの体力の向上や知識の向上について乏しい感じはないか。

院のあり方について問われているが、**市長** 病院管理者に方向性の検討を指示している。

教育長

23年、24年度がゼロで25年度に1人発生している。体罰の規定は懲戒の内容が身体的性質なもので、殴る蹴るの肉体的苦痛を与えるような懲戒、また長時間の正座や特定の姿勢なども体罰と捉えている。

教育長

これまではハード面、ICT、いろんな学校施設は拡充してきた。子どもたちの生活や学力、また家庭の経済格差の中でさまよう子どもたちの心のケアなどを改善していく。
*ICT:情報通信技術の

総称

樋渡 教育方針の中でい

市民病院のあり方は

樋渡 今、市民病



▲小城市民病院



江島佐知子

むし歯予防の促進を

教育長

フッ化物洗口を中学校まで導入していく

江島 ①子どもの歯の健康状態は生涯の健康に大きく影響してくる。12歳児の小城市のむし歯の状況は全国・佐賀県の平均よりも数が多い。健康診断で出される治療勧告書をもっと活用すべきではないか。

0%の児童が実施しているが、中学校でも導入すべきではないか。

教育長

①保護者に対して治療勧告書でお願いをしているが実施率は35%程度となっている。治療を促すようもっと徹底していきたい。

①高学年の受入について。
②時間の延長について。
③土曜日の毎週開設について。

教育長

①今の施設では無理な状態。28年度からの実施に向けて整備していく。
②喫緊の課題として学校側とも調整していく。
③毎週開設に向けて検討している。



▲フッ化物洗口による虫歯予防

放課後児童クラブの充実を

江島 来年度から子ども子育て新制度が実施さ

その他の質問

○小城祇園祭七百年祭に向けて



市丸 典夫

公共施設の使用料について

市長 合併協議会の中で決定した

市丸 公民館の小会議室の冷暖房費が1時間あたり300円となつてい

る。どこで決めたのか。200円、嬉野市100円となつている。小城市の300円というのは他市と比べると、やや高いのではないか。

かる。市民の皆さんにはその一部について負担をお願いしたい。

その他の質問

○税の徴収について

市長 合併前に、合併協議会の社会教育分科会の中において決定した。旧町では設定金額において、1時間250円から520円と、大変違いがあった。その料金をもとに協議を重ねて決定をし、現在の料金となっている。

副市長 施設の規模や用途、そういったものを総合的に見て、それぞれの自治体が判断をされていると思う。

市丸 利用される方が他市との差に不満を持っておられるがどうする。

市丸 他の市町を調べたところ、武雄市の北方公民館が750円と突出しているが、佐賀市が100円、唐津市100円、鳥栖市200円、鹿島市

副市長 施設の改修の費用から維持管理、また人件費など一定の金額が



▲公民館利用者の活動風景



松尾 義幸

生立ヶ里の

土のう積み箇所対応は

市長

アスカーブ^{*}設置で地元と協議している

中町信号東側の冠水対策は。④土砂災害警戒区域の指定は。

産業部長

建設部長

①生立ヶ里、小城町門前、芦刈町下古賀に土のうを積み、原因の一番は、時間雨量20mm以上の雨が4時間以上続いたため。

②福所江の水位が満潮と重なり、三日月一号排水路への排水を5時間中断したため。③大雨で急激に水量が増加し、農業用水路から水があふれた。④今

年度から県による基礎調査が始まる。

松尾 生立ヶ里は、以前は土のう積み箇所にアスカーブが設置されていた。道路高上げの抜本策を求める。当面は、アスカーブを設置せよ。

建設部長 地元からの要望もあり、設置に向けて協議をしている。

その他の質問

○オスプレイの佐賀空港配備について
○三日月町立石集落西側の水路の樋門の改修について



▲以前は設置されていた生立ヶ里のアスカーブ

松尾 ①7月3日の土のう積み箇所と原因は。②牛津町生立ヶ里の団地2か所の土のう積み箇所の抜本的対策は。③小城市

*アスカーブ…路面の雨水を路肩に集め排水溝まで雨水を誘導させる道路構造物



西 正博

胃がん予防対策に

ピロリ菌検査導入を

市長

国の動きを見ながら、必要な対策を図りたい

西 国の胃がん検診ガイドラインの2013年版に、ピロリ菌は胃がん発症に因果関係があることが証明されている。ピロリ菌の除菌にも保険適用が認められた。胃がん検診をバリウムを飲んでレントゲンによる検査方法から内視鏡によるリスク検査に変更された市もあるが、小城市が変更できないのであれば、市が実施する健康診断で行われる血液検査の中にメニューとして市民が選択できるような制度を整えても良いのでは。

大きな課題になっている。ピロリ菌の検査方法として、血液や尿や便から抗体や抗原の検査、また呼吸検査などがあるが、国の動きを見ながら、必要な対策を図りたい。

西 胃がん

の年間治療費が一人当たり平均約270万円かかっており、医療費の削減にも十分な効果があると思うが。

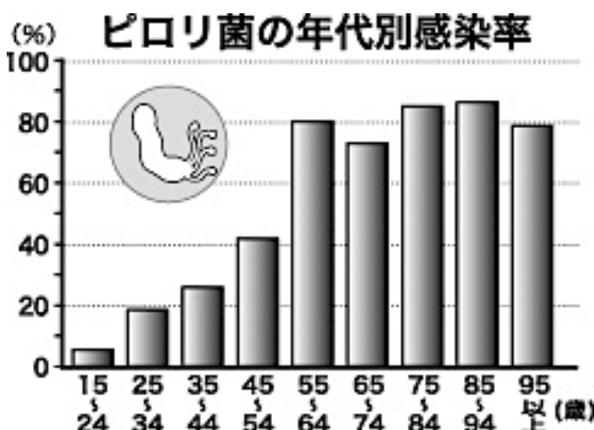
市長 国の対応に期待をして、市としてしっかりと補

市長 胃がん検診の受診率は、県内では上位だが、年々下降傾向にあり、大

助ができるようにしていきたい。

その他の質問

○安心安全な道路のあり方と問題点について
○市の環境施策について



中島 正樹

交流プラザの維持管理

運営はどうする

市長

指定管理制度導入に最善をつくす

中島 平成21年6月に県内初の認定を受けて着手した中心市街地活性化事業の中で、最優先事業の(仮)まちなか市民交流プラザの維持管理と運営主体等の現状、経費試算、今後の予算と計画はどうなるのか。

は、平成27年度当初予算として1億4,212万7千円を計画し、備品購入費、北別館等の解体、倉庫新築、外構工事を行う予定だが、議会から北別館等の解体、倉庫新築は既存建屋を利活用することによるコスト削減を図るべきとの指摘を受けている。現在、既存建屋の再利用の検討を行っている。

市長 中心市街地活性化基本計画において計画していたように第三セクター「株式会社まちづくり小城」との指定管理制度導入を目指して協議を進めている。

建設部長 経費試算については現在、算定を進めている段階である。今後の予算について

中島 設置条例の上程と基本協定の締結時期はどう考えるか。

中心市街地活性化推進室長 条例の上程時期は12月議会。協定書の締結は、指定管理者指定後の平成27年7月めどと考える。



▲ (仮称) まちなか市民交流プラザ完成予想図

